

熊本市 感染症発生動向調査 速報

現在の流行状況

感染性胃腸炎に注意しましょう！

定点医療機関あたりの感染性胃腸炎の患者報告数は、2.60人(定点数16ヶ所、患者報告数39人)でした。今後も、特に人の多く集まる場所では注意が必要です。手洗いなどの感染予防策をしっかりと行いましょう。

感染性胃腸炎について

- 感染経路：食品から感染する場合と、人から感染する(ウイルスが手などに付いて口から入る、吐物の飛散など)場合があります。
- 症状：原因となる病原体や患者の状況により異なりますが、発熱、下痢、吐き気、嘔吐、腹痛などがあります。
- 治療法：特に、体力の弱い乳幼児、高齢者は、脱水症状を起こしたり、体力を消耗したりしないように、水分と栄養の補給を充分に行いましょう。脱水症状がひどい場合には病院で輸液を行うなどの治療が必要になります。下痢止め薬は、病気の回復を遅らせることがあるので使用しないことが望ましいでしょう。
- 予防方法：手洗いをしましょう(特に調理の前、食事の前、トイレに行った後、下痢等の患者のオムツを交換した後など)。食品はきちんと加熱してから食べましょう。患者の便や嘔吐物の中にウイルスが含まれるので、便や嘔吐物は次亜塩素酸ナトリウムなどを使用し処理をしましょう。

期 間		平成28年 第14週		平成28年 第15週	
		4/4～4/10		4/11～4/17	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		191	7.96	66	2.75
RSウイルス感染症		2	0.13	2	0.13
咽頭結膜熱(プール熱)		5	0.33	2	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		25	1.67	10	0.67
感染性胃腸炎		84	5.60	39	2.60
水痘(みずぼうそう)		5	0.33	2	0.13
手足口病		0	0.00	1	0.07
伝染性紅斑(りんご病)		22	1.47	7	0.47
突発性発しん		9	0.60	6	0.40
百日咳		0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ		0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		19	1.27	8	0.53
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		25	5.00	12	2.40
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		1	0.20	2	0.40
マイコプラズマ肺炎		2	0.40	3	0.60
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		10	2.00	2	0.40